

財団法人テレコムエンジニアリングセンター
公益的調査研究助成

成果報告書

研究集会名

2012年アンテナ伝播国際シンポジウム
(ISAP2012)

助成期間

平成 24年 4月 ~ 平成 25年 3月

提出期日

平成 25年 4月

研究代表者氏名

伊藤公一

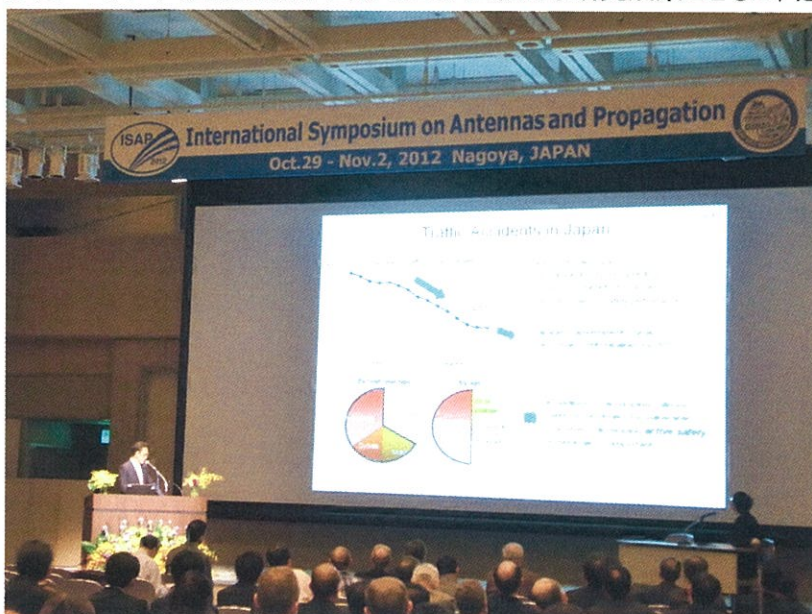
所属機関・職名

千葉大学 教授

研究集会名	2012 年アンテナ伝播国際シンポジウム(ISAP2012)	
期日・場所	平成 24 年 10 月 29 日～平成 24 年 11 月 2 日 (5 日間) 名古屋国際会議場	
主催	電子情報通信学会通信ソサイエティ (運営主体は、2012年アンテナ伝播国際シンポジウム実行委員会)	
報告者 (助成対象者)	伊藤公一	印
勤務先	機関名	千葉大学
	住所	〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学内
助成期間	平成 24 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月	
助成金額		
本報告書作成日	平成24年 12月 28日	

研究集会概要 (機関誌「TELEC ニュース」に掲載しますので、ここには最終年度の概要を平易でかつ簡潔に記載願います。説明文 500 字以内、かつ写真又は図表1枚付。なお、過去年度の古い情報は不要です。)

論文講演発表は、トヨタ自動車 濱田第3電子開発部長をはじめとする招待講演者による全体講演(2 件)、一般講演セッション(55 セッション)及びポスターセッション(2 セッション)からなっており、その内容は、各種のアンテナ設計・解析、電波伝播測定・推定・モデル、電磁界散乱・回折などの基礎的な研究成果とともに、近年注目を集めている、次世代移動通信システム、無線電力伝送、リモートセンシング、医療応用などのアンテナ伝播技術のシステム応用分野、メタマテリアル、電磁環境などの幅広いテーマにわたり最新の研究成果の発表と活発な討論が行われた。最新の研究内容を紹介・解説するワークショップ(4 件)も開催した。期間中は、全てのセッションにわたって非常に盛況であった。



研究集会の詳細

研究集会名 : 2012 年アンテナ伝播国際シンポジウム(ISAP2012)	
期日・場所	平成 24 年 10 月 29 日～平成 24 年 11 月 2 日 (5 日間) 名古屋国際会議場
主催	電子情報通信学会通信ソサイエティ (運営主体は、2012年アンテナ伝播国際シンポジウム実行委員会)
研究集会の目的・意義 <p>本シンポジウムでは、アンテナ、電波伝搬、および電磁界理論をテーマとし、これらの分野の基礎理論や要素技術のみならず、移動通信システムや無線電力伝送システム、リモートセンシング等の分野も含む広範な電波利用システムの研究者、技術者の参加を広く世界に呼びかけ、新しい電波技術、電波利用の開拓のため論文発表と討論を行い、これらを通じて情報通信や計測を含む電波利用技術のより一層の発展を図ることを目的とする。</p>	
研究集会概要(平成 24年 4月 ~ 平成 25年 3月): <p>本シンポジウム(2012 International Symposium on Antennas and Propagation: ISAP2012)はアンテナ・電波伝搬・電磁界理論に関する国際会議である。主催は(社)電子情報通信学会通信ソサイエティであり、米国電気電子工学会アンテナ伝播ソサイエティ(IEEE AP-S)、国際電波科学連合(International Union of Radio Science: URSI)、英国電気工学会(IET)アンテナ伝搬プロフェッショナルネットワーク、欧州アンテナ伝播協会(EurAAP)、韓国電磁界技術ソサイエティ(KIEES)、中国通信学会(CIC)、Electrical Engineering/Electronics, Computer, Telecommunications and Information Technology Association of Thailand (ECTI Thailand)の後援により開催されたものである。</p> <p>論文講演発表は、トヨタ自動車 濱田第3電子開発部長をはじめとする招待講演者による全体講演(2件)、一般講演セッション(55セッション)及びポスターセッション(2セッション)からなっており、その内容は、各種のアンテナ設計・解析、電波伝播測定・推定・モデル、電磁界散乱・回折などの基礎的な研究成果とともに、近年注目を集めている、次世代移動通信システム、無線電力伝送、リモートセンシング、医療応用などのアンテナ伝播技術のシステム応用分野、メタマテリアル、電磁環境などの幅広いテーマにわたり最新の研究成果の発表と活発な討論が行われた。また、最新の研究内容を紹介・解説するワークショップ(4件)も開催した。全期間、全てのセッションにわたって非常に盛況であった。</p> <p>なお、本シンポジウムに関する宣伝として、電子情報通信学会会誌や IEEE Antennas & Propagation Magazine で開催案内を掲載したほか、ヨーロッパで開催されたアンテナ・伝搬関連技術の国際会議 EuCAP2012 でも Final program に掲載されるとともに Opening ceremony で紹介された。</p>	
参加者数(主な国別等)と発表論文数: <p>総参加者数 563 名(同伴者 27 名を含む) [日本:350 名, 海外(29 カ国, 213 名)](主な参加国:韓国:49 名、台湾:31 名、中国:26 名、マレーシア:14 名、米国:13 名、フランス:11 名) 発表論文数:総数 392 件 内訳:招待講演論文数 7 件、一般発表論文数 381 件(ポスター発表論文 114 件含む)、ワークショップ 4 件</p>	

研究集会の成果

アンテナ、電波伝搬、電磁界理論の各分野において、最先端の成果の発表がなされ、各セッションでは、活発な質疑応答があり、有意義な議論が行われた。次世代移動通信システムや無線電力伝送システムなど電波を利用した将来システムへの展望と道付けにつながる有意義なシンポジウムとすることができた。